



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

ネット通信 花便り

No.20 (2011年3月15日号)

● ● 報 告 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

九州新幹線全線開通記念イベント

福博花しるべ開催

3月12(土)~4月10日(日)

かつて経験したことがない東日本大地震、津波。原子力発電の爆発。大災害を前に、どう気持ちを表現したらいいのかわかりません。ただただテレビを見て、いたたまれない気持ちです。何をしたらよいか、考えています。

お子様、ご親戚の方、知人友人の方が災害地、そしてその周辺にいらっしゃる方のご心配は計りしれないことと思います。日夜を問わず被災者救助や災害対策に全力を尽くしていらっしゃる関係者の皆様へ感謝と、一刻も早く、一人でも多くの方の救助をと願うばかりです。世界各国から訪れてくれた援助隊の姿にも、本当に心強く感じました。世界は一つなのだと・・・。

私たちに何ができるのかわかりませんが、みんなと心をつなげて考えなければと思います。被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々とご遺族の皆様へ、深くお悔やみを申し上げます。まだまだ余震が続く中、被災地の皆様は不安でいっぱいだと思います。皆様のご無事を心よりお祈り申し上げます。 山崎博子



花が結ぶ 春の出会い

3月12日心待ちにしていた九州新幹線全線が開通しました。開通を記念して、博多駅から天神まで福岡の街が、10万本のチューリップで彩られます。さあ春を見つけに出かけましょう!

◎福博花しるべ ガーディングショー

●とき 3月26日(土)~4月3日(日)

●ところ 福岡市役所西側 ふれあい広場

企業・市民団体などによる花壇コンテストやハンキングバスケットコンテストなど、多彩なイベントが開催されます。花壇コンテストには「園芸福祉ふくおかネット」の松永加代子さんをリーダーに金沢恵美子さん、西川直喜さん、堀内泰彦さんたちが参加。また、がんセンター「花の仲間たち(代表 山崎博子)」、緑のコーディネーターグループ「地域に花を咲かせよう会(代表 米倉治美)」なども参戦します。「出場するからには、優勝を目指しましょう!」。各チームデザインプランに熱が入ります。さあ、どんな花壇が出来るか。楽しみです。



久留米の活動

久留米では定例会を月1回・第4土曜日に、緑化センターで行っています。モデルガーデンの手入れを行いながら話し合いを重ねていく中、「何か、勉強したいですね」という会員からの提案で寄せ植え、ハンキングバスケット、エコ鉢などいろいろと勉強を続けております。次回は「そば打ちをしてみたい」と好奇心旺盛な私たち。時には園芸の枠を超え、さまざまなことに挑戦していこうと、色とりどりの花を咲かせ楽しんでます。

3月には新しく緑化センター内にモデルガーデンを作ります。タイトルは『四季とのであい』。少人数で頑張っている久留米です。

あなたも仲間作りに参加してみませんか。お友だちとお誘いあわせて、緑化センターへお出かけください。※定例会の日程は変更することがありますのでご確認ください。

携帯 090-1194-6726 (栗木)

田主丸・九州農園

4月9・10日オープンガーデン

詳しくは同封のチラシをご覧ください。



事務局からのお知らせ

● 園芸福祉ふくおかネット

総会開催のお知らせ

■ と き 5月21日(土)15:00～

■ ところ あすみん研修室



達成! 10年間で10万本の植樹

古賀市10万本ふるさとのまちづくり

平成14年から始められた植樹祭は、九州電力50周年記念として「10年間で100万本の植樹をしよう!」という呼びかけに、古賀市で10年間で10万本を植樹しようと始まりました。

古賀市を事務局として九電、福岡グリーンヘルパーと古賀市緑のまちづくりの会のボランティアグループで結成された実行委員会が中心となり、毎年3月に600～1,200名が参加者して、1万本ずつ、主に古賀市グリーンパークの竹林をシイ、カシ、タブなどの広葉樹に取り替える活動をしてきました。

去る3月5日、約1,200名の参加者で目標10万本目の植樹を達成しました。古賀市緑のまちづくりの会は実行委員会が中心となり、小学校の子どもたちとドングリを拾い集め、苗に育てるなど、地球環境の学習、啓蒙に努めながら、10年目で念願の10万本植樹の完成を祝いました。目標の植樹は達成しましたが、これから10万本の森を育てる仕事

が続きます。
青崎 安孝



アイランドシティー中央公園 「園芸福祉の庭」定例会のお知らせ

★毎月最終日曜日に除草や花の定植など庭の手入れ作業をしています。

★次回は3月27日(日)10:00～12:00
皆さんの参加をお待ちしています。

参加者募集!

母の日に…感謝のおくりもの エコ鉢を使った寄せ植え講座

■ と き 4月25日(月)10:30～12:10

■ ところ 九州大学大橋サテライト 1階
(ゆめアール大橋・大橋駅東口1分)

■ 定員 20名

■ 参加費 1,000円

■ 持参するもの/園芸ハサミ、エプロン

■ お申し込み先

携帯 090-1347-5662(米倉)



主催 園芸福祉ふくおかネット

編集後記

今回初の講師をさせていただき、つくづく人に伝えること、教えることの難しさを実感しました。視覚障がい者の方々を対象にしたコケ玉講座ということで、私自身「目が見えない…」ということ想定しながら、何度も何度も資料を書き加えたり、視覚障がい者の音声ボランティアをしている先輩に助言をもらったり。これまで何気なくしていた日常生活での動作を、改めて一つ一つ確認しながらたくさんの方の事を学ぶことができ、貴重な体験をさせていただきました。そんな、私…、当日寝坊してしまい、事前準備の集合時間に遅刻してしまうという大失態をしてしまい、危うく講座の時間に遅れるところでした。危なかった!! 初めての講師ということで緊張もし、つたない私の説明でしたが、スタッフのみなさんに助けられ、無事に終わることができました。ふう～!
よねっち(米倉)の独り言

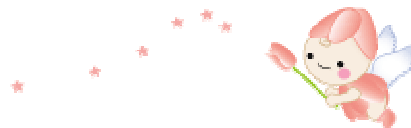
◆あなたも活動紹介をしませんか？

個人やグループ、学校、地域などで行っている園芸活動をお知らせください。メールやお手紙に写真を添えてお送りください。

●送り先/〒810-0033 福岡市中央区小笹1-9-25

園芸福祉ふくおかネット事務局 黒瀬 恵子宛

Eメール/engeifukusi.fukuoka@hya.bbq.jp



会員紹介



小山雲珠さん (博多区在住)

園芸福祉のすばらしさを、
台湾の人たちに伝えたい!

2010台北国際花卉博覧会も残すところ1ヵ月半。今は、4月のフィナーレに向けてのイベントの準備で、福岡と台北とを行ったりする多忙な毎日です。

来場者の反響は

来場目標数の800万人に対して、現在600万人が来場しています。メインは台北の人たちで、ガーデ

ニングへの関心の高さを物語っています。来場者からは「これまでの見る庭ではなく、遊べる庭なので楽しい!」と好評です。

4月のフィナーレのときに、優勝が発表されるそうですね。

11人の審査員や来場者に好評で、台北花博出展実行委員会はじめ、庭に関わったスタッフ全員喜んでいますが、でも、優勝できたら嬉しいなあというぐらいで、「優勝」を目標としているわけではないので…。この博覧会出展の言い出しっぺの私は、実行委員会やスタッフ、関係者などが庭づくりがし易い環境を整える『交通整理』的な役目だと思っています。チームで仕事をするのは時には難しいこともあるけど、みんなの目指すものは一つ。雨水を利用した循環型で、見る庭から癒やしを感じる庭。題して『エコ・アジア・五感の庭』。今回のことで人脈も広がり、学ぶべきこともたくさんありました。

これからの展望は

台北で園芸福祉の普及・推進活動をしていきたいと思っています。これまでは経済中心の社会でしたが、これからは目には見えないソフト面を重視した社会へと移行していくのではないのでしょうか。花や緑など自然とのふれあいの中で、心を癒やされながら、人と人とが交流し仲間を作り、楽しく暮していく社会。そんな園芸福祉のすばらしさをひとりでも多くの人に伝えられたらと思っています。

園芸福祉ふくおかネット事務局

- TEL 090-8626-1586 (黒瀬)
- E-mail engeifukusi.fukuoka@hya.bbq.jp
- URL www.engeifukusi-fukuoka.net
- 〒810-0033 福岡市中央区小笹1-9-25
- ネット通信 花便り 編集者 米倉 治美・水島 修子(旧姓尾島)